

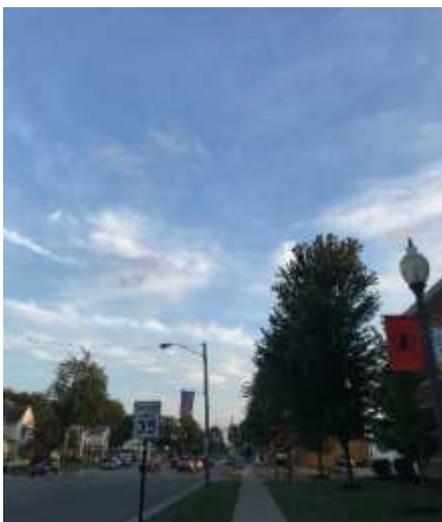
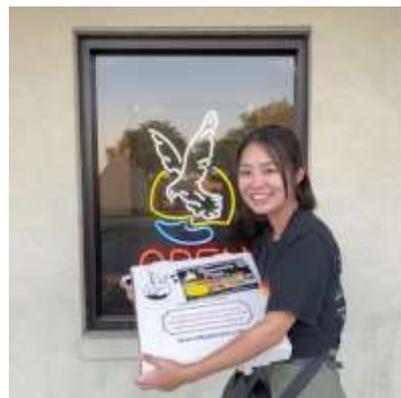
## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 8月分

佐々木菜緒

初めまして。この度福井県留学奨学生として、アメリカのフィンドレー大学に留学させていただいております、佐々木菜緒と申します。私は高校2年生次にも、福井県高校生海外語学研修に参加させていただきました。当時の私にとって初めての海外渡航であり、その経験は私にとって大きな影響を与えました。今回、再び皆様のご支援のもと、アメリカに滞在し、学びを深める機会をいただいたことに大変感謝しております。福井県代表として、様々な事に挑戦し、学び、吸収したことを貢献できるよう、精進していきます。

### 【自己紹介】

私は福井県福井市で生まれ育ち、現在は名古屋外国語大学に通う大学3年生です。大学では外国語学部英米語学科に属しており、英語を中心に国際理解を深めたり、児童英語教育やビジネスについて学んだりしています。また、アメリカにおける広告とその在り方についてのゼミを履修しており、主にアメリカの文化やその時代背景などから広告を分析し考察しています。将来は、国際的な観点から物事を捉え、幅広い知識を持った人になりたいと考えています。その為、今回の留学で、語学を身につけるだけでなく、様々なことに挑戦し、刺激を受けたいと思います。また私は旅行が大好きなので、一緒にアメリカ国内外を旅行できる友だちが作れればと考えております。



### 【フィンドレーという町】

フィンドレーはアメリカのオハイオ州に位置している小さな町です。電車やバスはほとんど無く、人々は主に車で移動しています。私たち留学生は、大学で自転車を借りて、スーパーに行ったりダウンタウンを訪ねたりしています。決して都会ではありませんが、その代わりとても静かで平和なところです。町の人々は暖かく私たちを迎え入れてくれています。私が育ってきた福井県を彷彿とさせる場所で、リラックスして生活することができています。

### 【大学での授業】

フィンドレー大学には、百を超える学部・専攻がありますが、今学期間、私は集中英語コース (IELP) に属しています。授業は Listening, Reading, Grammar, Writing で構成されており、先生方は留学生向けに丁寧に教えてくださいます。クラスは、中国、台湾、ベトナム、イラン、サウジアラビア、チェコ出身の人々、そして他県からの日本人多数で構成されています。また、IELP の授業以外にも、Experiences in Japan (UF の生徒と双方の文化を知り、学びあう授業) や、Cultural Connections (文化交流を行う授業) を履修しており、様々な国、地域出身の人々と触れ合う機会が多々あり、嬉しく思います。そしてもう一つ、Jacobs Primary School に行き、現地の小学生に数字を教えたり、一緒に遊んだりする授業も控えています。今学期は 3 回、学校を訪ねる機会があり、現在はその準備をしている段階です。私は子どもが大好きなので、この交流事業がとても楽しみです。大学の授業全体を一貫して、午後 5 時頃には大体の活動が終わっています。たまに夜遅くに活動があり、疲れることもありますが、大学構内を走っている野生のリスやウサギたちを見ると癒されます。

### 【放課後していること】

こちらに来てから約 3 週間が経ち、ようやく生活に慣れてきました。これまでは、新生歓迎ウィークで、放課後にイベントが開催されており、毎日その活動に参加して交流の輪を広げていました。そのうちの一つに”Kolor Run” (※スペルミスではありません) という、大学の外周を一周し、そのどこかでカラーパウダーをかけられる、マラソンのようなイベントがありました。このイベントを楽しんでいたのをきっかけに、その後のイベントにも日本人留学生たちが誘われるようになりました。イベントがない時は、学内のジムでトレーニングをしたり、バレーをしたりして楽しんでいます。



そしてクラブ活動について、現在 Wilderness Club と K-POP Club への入部を検討しています。前者は休日にハイキングやキャンプに出掛けるクラブで、自然の綺麗な地域だからこそ入って活動してみたいと志願しました。これからの活動がとても楽しみです。そして後者について、私はあまり K-POP に詳しくないのですが、韓国語に興味がある為、語学学習を目的に検討しています。日本の大学で、第二外国語としてのフランス語に加えて、最近韓国語を履修し始めたからです。これらのクラブ活動を通して、楽しみながら交流ができればと考えています。

### 【休日の過ごし方】

土日のどちらかは、ピザを買ってきたり、各国の料理を持ち寄ったりして友人と一緒に過ごすようにしています。今のところ留学生同士で集まっているのですが、女子が多い為恋愛話や映画の話で盛り上がることが多いです。ブラジルやチェコでは日本と少し恋愛観が異なることを知り、興味深かったです。これからもっともっと交流の輪を広げていければと考えています。

先日、9月2日はLabor Day（毎年9月の第一月曜日）で学校がお休みでした。この日は「労働者の日」とされ、アメリカでは学校やお店などが休業になります。そこで友人たちと、The Hancock Country Fairに行きました。そこでは、可愛い動物たちと触れ合ったり、アトラクションを楽しんだりしました。少し遠くで開催されていた為、片道50分のウォーキングとなりましたが、移動中に沢山会話ができてとても良い時間を過ごせました。



最後まで読んでいただきありがとうございました。ここでの生活は始まったばかりですが、充実した日々を過ごせています。有意義な留学となるように今後も努力していきます。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。[sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 9月分

佐々木菜緒

夏が終わり、秋がやってきました。こちらは朝晩すっかり冷え込むようになり、既に厚着をし始めています。日本は台風19号が近づいてきていると伺いました。前回の台風時のような災害が起こらないことを祈っています。今回の報告書では、加計フェスティバル、Jacobs Primary Schoolでの活動、ボランティア活動、旅行についてお伝えします。

### 【加計フェスティバル】

加計学園の方たちが主催する、日本文化に触れてもらうイベント、加計フェスティバルというものがあり、私は書道ブース担当として参加しました。高校2年生次に参加した福井県高校生語学留学研修事業でも、現地の人々に書道体験をしてもらうイベントをしたことがあり、その時はとても大盛況でした。そこでその経験を基に、今回も来てくれた方に喜んでもらえるよう、そして上手く段取りができるように考えました。持ち帰って飾ってもらえるように色紙を用意したり、小さなお子さんでも手軽に体験できるように筆ペンを用意したりしました。また、書道とはどういうものを想像し、理解してもらうために、漢字と英語の意味を書いた見本をたくさん準備しました。

当日は予想通り、片付けをするギリギリの時間まで、フィンドレー大学の生徒さんやご家族で賑わいました。名前を漢字で書きたいという注文が多く、漢字とその意味が素敵で、且つ英語の発音と似たものを探すのは難しかったです。しかしとても喜んで頂けて、「甥と姪にもプレゼントしたいから、名前と意味を書いて」と言われた時は、私も嬉しかったです。そして私は、サウジアラビア出身の友人に、アラビア語で私の名前をどう書くのか教えてもらいました。彼らは右から左に読み書きをするそうです。アラビア語を見る機会はありませんので新鮮でした。このように、漢字、平仮名、片仮名といった日本の文字の種類と、書道という異文化に楽しく触れていただくことができ、また私たちが異文化体験ができました。準備期間は一週間しかなく、時間を割くのに苦労しましたが、多くの方に書道を体験して頂けて本当に良かったです。また、活動をしている自分たちも、改めて漢字には一つ一つ意味があり、またその組み合わせで意味が変わってくるなど、文字の奥深さに魅了されました。



### 【Jacobs Primary Schoolでの活動】

先月の報告書にも記載したのですが、私は小学校に行き日本文化を伝える授業を履修しています。そして、今回は実際に子どもたちに授業をしてきました。今回は、日本についての基本情報（国旗・位置・言葉など）をクイズ形式で伝え、その後じゃんけん列車を皆でし



ました。特に言葉を教えることについて、「こんにちは」「ありがとう」の二つを知ってもらいました。子どもたちが一緒に発音してくれるか不安でしたが、乗り気で言ってくれて安心しました。次回は、日本語での数の教え方を教えます。今回の成功点、反省点を存分に生かし、より良い時間にできるよう努力します。

### 【ボランティア活動】

ボランティア活動について、日本と比べて、アメリカではボランティア活動に参加することが日常化されています。大学からよく来るメールに、ボランティアを募集するものがあり、行ける人はそのメールから参加登録します。私もその姿勢を見習いたいと考えています。数あるうちのひとつに、UF Service Ambassador というものがあり、この活動では一学期間を通してボランティアが行われ、私も参加しています。私は2週間に一回、火曜日の午前8時から10時まで、生活支援センターで働いています。主に食品や衣服を整理することが仕事ですが、それらは無償で必要な人々に提供されるそうです。この活動は大学の生徒とペアを組み行うため、語学学習にもなっています。他にも植林をする活動や、学内で町の人々に食事を提供する活動などが控えています。今後も積極的にボランティア活動に参加していきます。

### 【旅行】

先日、チェコ出身2人とブルガリア出身1人の友人計3人と、車でシカゴに日帰り旅行をしました。そのうち2人はその場で初めて会ったのですが、移動中もシカゴに着いてからも会話を楽しむことができました。チェコは、アメリカに比べて物価がとても安いそうです。また、教育制度は日本とは少し異なり、中学以降は職業専門学校に通う学生が多いということなどを知りました。全員母国語が異なるので、互いが理解するまで言い回しを変えたり、助け合って話したりして、英語で会話をしました。これまで、初対面の方と話すことに苦手意識を抱いていましたが、日本語でも英語でも、少し勇気を持てばよい友人関係を築くことができることに気が付きました。苦手意識を払拭できつつあり、嬉しく思います。

2019年10月10日

またこの一か月の間に、Toledo や Cleveland も訪ねました。美術館にも何度か行ったのですが、アメリカでは写真や動画の撮影が許可されていて驚きました。また、The Toledo Museum of Art では、館内で学生音楽団による演奏がされており、素敵な時間を過ごすことができました。今学期は Thanks giving Recess と Winter Break がまだ控えているので、休暇中も語学学習の一環として有意義に過ごせるように計画を立てていきたいです。



最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。 [sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 10月分  
佐々木菜緒

皆さんいかがお過ごしでしょうか。季節の移り変わりは早いもので、こちらは零度を下回る日々が続いています。今後も更に気温が下がり続けますが、体調管理をしっかり続けていきます。今回は、Japan Week、Halloween、Boston Career Forum2019について報告します。

【Japan Week】

10月17日から19日までの3日間、日本文化について知ってもらう、体験してもらう期間がありました。私たち日本人留学生も、いくつかのイベントの企画をしたり、参加したりしました。その中でも特に印象深かったGenki kids、落語公演についてお伝えします。

Genki kids

Japan Week 期間中とその後の計2回、Liberty Benton Nest という学童のような場所に行き、幼稚園から小学5年生までの子どもたちに、日本文化に触れてもらう活動をしました。私は幼稚園から小学2年生までが担当で、1回目は書道体験と折り紙、2回目は工作をしました。2回目の活動の際、始めはクリスマスツリーを模した帽子を折り紙でつくる工作を考えていましたが、クリスマスをお祝いしない宗教の子がいるということで、カラフルな帽子の工作に変更しました。これまで宗教について自分なりに学んできて、少しは知ったつもりになっていましたが、宗教上の理由で活動できない子がいるとは考えていなかったため、驚きました。担当の青木先生は、日本文化は宗教を日常にすぐ取り入れてしまう特性を持っており、それ故に経験するカルチャーショックだと仰っていました。子どもたちは日本文化に興味津々で、この活動を通して子どもたちの人生に少しでも良い影響を与えられていたら良いなと感じました。また活動をするうえで、宗教に対する理解を深めることも大事だと改めて学んだ良い機会になりました。



落語公演

落語家の笑人さんが日本からいらして、落語公演をされました。実際に公演を見るまで、正直私は、落語は確かに日本文化を代表するものだけれど、日本だから成り立っているのであって、「笑い」の観点が異なる他国の人々に理解してもらい、楽しんでもらうのは難しいのではないかと考えていました。しかし、笑人さんはそのような考えを覆し、とても素敵な公演をされました。日本語、英語、スペイン語、韓国語などの多言語で話を展

開するだけでなく、観客を巻き込んで参加型の落語の世界を創り上げており、落語という独特の文化を伝えるのは難しいだろうと思っていた自分が恥ずかしくなりました。笑人さんは、フィンドレーだけでなく、世界中の都市や学校などでも公演をされているそうです。フィンドレーに滞在されていた数日間でも、毎日朝から晩まで数々の学校で公演をされていました。まさに日本文化を世界に広めていく活動をされており、心から素敵だなと感じました。また、このような方のおかげで少しずつ日本文化が世界に認知されていくのだな、私も笑人さんのように、少しでも日本に貢献できる仕事をしたいと感じました。

#### 【Halloween】

Birchaven Retirement Village の老人ホームで行われたハロウィンイベントと、ダウンタウンで開催されたハロウィンパレードに参加しました。前者では、ボランティアとして、トリックオアトリートに来た子どもたちを高齢者の方がいる場所まで案内する係を請け負いました。子どもたちだけでなく、家族全員で仮装をしている方たちもいて、微笑ましかったです。日本でもハロウィンは広まりつつありますが、このような平和で素敵な文化として、誤解を生まないように浸透したら良いのにと感じました。後者のイベントでは、日本人留学生チームとして、カオナシの仮装をし、お菓子を配りました。東部アメリカ合衆国内で一番大きいパレードだったようで、大々的に行われていました。いわゆる「アメリカ文化」を体験し、楽しむことができました。



#### 【Boston Career Forum 2019】

11月1日から3日まで、世界最大の日英バイリンガルのための就職・転職イベント「Boston Career Forum 2019」が開催されました。私は現在休学している為22年卒であり、応募条件は満たしていないのですが、勉強のために2日間参加しました。世界各国から高い能力やスキルを持った方たちが集まっており、良い刺激を受けました。15社の説明会に参加し、2社の面接を受け、学んだことが沢山ありました。語学力があって当たり前

2019年11月10日

の世界で、その中で自分の専門性やこれまでの経験から学んだことなどを、どう上手くアピールするかが大事だと考えさせられました。また、それができるように残りの学生生活をこれまで以上に有意義に過ごそうと強く感じました。卒業年度はまだ先ですが、このイベントに参加し学ぶことができ本当に良かったです。

最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。 [sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 11月分

佐々木菜緒

今年も残すところ約1か月となりました。フィンドレーに来てからは、もう4か月半が経ち、時の早さを実感しています。この一学期間、様々な出来事がありましたが、少しでも成長できているよう願います。今回の報告書では、福井県の社会人の方々との交流、Thanksgiving、半年組送別会についてお伝えします。

### 【福井県の社会人の方々との交流】

福井県・フィンドレー市・国際人材育成事業のひとつである「アメリカ国際ビジネス研修」に参加されていた、社会人の方々との交流がありました。研修に来られていた期間のうち最後の3日間、各企業のプレゼンテーションや、お話を伺いました。福井県にはメーカーが多く、また、世界に技術や商品を提供している企業が多くあることに驚き、感動しました。そして社会人の方々は、多忙な合間を縫って、今後の留学生活や就職活動の相談に、親身になって乗って下さいました。再三自分のキャリア形成について考える良い機会となりました。

最後の日には、社会人の方々のビジネス交流の場に、福井県留学奨学生として招待して頂きました。そこで在デトロイト日本国総領事館の総領事や企業の社長さんとお会いし、直々にお話を伺いました。学生として参加させていただくには恐れ多い場でしたが、このようなとても貴重な機会にご招待頂き、大変感謝しております。本当にありがとうございました。

### 【Thanksgiving】

アメリカでは、11月の第4木曜日はThanksgivingとされ、最も大きな祝日のひとつとなっています。この日やそれに伴う休暇では、七面鳥を食べるなどして、家族と共にのんびり過ごす方が多いようです。大学では、学生やその家族、地域の方々と共に食事をする機会が設けられました。豪華な食事と共に素敵な時間を過ごすことができました。

### 【半年組送別会】

12月6日に、帰国する日本人留学生のための送別会がありました。この半年間、友人たちとはかけがえない思い出を作ることができ、あと少しで帰国してしまうのかと思うととても寂しいです。私たち残る組は、サプライズで動画を作りました。動画を作成するのは初めてで大変でしたが、皆に喜んでもらえて本当に良かったです。私も彼らのように、有意義な留学生活だったと自負できるように、残りの半年間精進していきたいです。

2019年12月10日



作成した動画の URL です。宜しければご覧ください。

[drive.google.com/file/d/1Mktuiu3RJbYIHnmjW7WK7alorjyx2Hpv/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1Mktuiu3RJbYIHnmjW7WK7alorjyx2Hpv/view?usp=sharing)

最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば気軽にご連絡ください。 [sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 12月分

佐々木菜緒

皆さま明けましておめでとうございます。今年は2020年、東京オリンピックが開催されますね。オリンピックに向けて、今の日本はどのように変わってきているのか気になります。こちらは1月6日から新学期が始まりました。今期からは学部の授業も履修するので少し緊張しています。授業についていけるように、自分での勉強も続けながら頑張っていきます。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。今回の報告書では、Winter Break と Branch についてお伝えします。

### 【Winter Break】

12月12日から1月5日までの冬期休暇中、友人たちと New York、Washington D.C.、Seattle、Vancouver(Canada)に旅行をしました。特に Seattle では、以前参加させて頂いた福井県高校生海外語学研修の際にホームステイした家族の許を訪ねました。彼らは私を再び快く迎え入れてくれました。彼らにとって私たちは最初の留学生だったのですが、その後も留学生を受け入れ続けているそうです。去年は、私と一緒にホームステイしていた子が訪ねてきたようで、今でも私たちと連絡を取り合っており、再会できたことをとても喜んでくれました。そして Night Zoo や Bar に連れて行ってくれたり、一緒に映画を観たりして素敵なクリスマスのひと時を過ごしました。久しぶりに再会した友人は日本語の勉強を始めており、なんだかとても嬉しかったです。イブに開かれたパーティーでは、家族や親戚と Flannagan 家恒例のクリスマスディナーを食べ、そしてプレゼントを頂きました。ツリーの下にずっと置かれていた沢山のクリスマスプレゼントはこの時に皆で開封して楽しむのだと知り、日本とは異なるクリスマスの在り方に驚くとともに、どちらも其々の良さがあるなと感じました。大好きな家族のおかげでアメリカらしいクリスマスを体験することができました。今後も彼らと連絡を取り続け、また機会を見つけて会いに行きたいと思います。





旅行期間中体調を崩す時もありましたが、様々な場所に足を運び、NYではBroadwayを鑑賞するなど貴重な体験をすることができました。とても充実した冬期休暇となりました。

### 【Branch】

1月4日にBuford CenterでBranchが開催されました。久々に友人たちと再会でき、Findlayに帰ってきたことを実感しました。また新たな留学生たちとも会い、皆でご飯を食べ、ジェンガやトランプで遊びました。日本のババ抜きを伝えたところ、最後に残ったふたりの駆け引きを気にいって来て、皆で何回もババ抜きをしました。その後は残った日本人留学生と一緒にNHK紅白歌合戦を観ました。やっぱり、



日本の年越しは紅白歌合戦無しでは語れません。年末年始に私は風邪で寝込んでいたので、ようやく大晦日と元日が来たような感覚になりました。今年の紅白歌合戦はこれまでのものと大きく変わって、国際色豊かな方々が多く出演されたり、多様な愛が謳われたりするなど、グローバル感がとても強いなと感じました。東京オリンピックに向けてなのでしょうか。

2020年1月10日

また AI 美空ひばりさんが出演されており、私たちは世界が変わるすごい時代に生きているねと、皆で驚きながら鑑賞しました。友人たちと日本らしい年始を過ごすことができ、心が温まりました。

最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。[sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 1月分

佐々木菜緒

皆さまいかがお過ごしでしょうか。こちらは新学期が始まり約1か月経ちました。昨年とは少し違う新たな授業環境に戸惑いつつも勉学に励んでいます。気づけば留学生活も残り3か月を切り、既に寂しく感じております。タイムリミットがあることを念頭に置いて、今後も様々な活動に参加し学んでいきたいと思っております。今回の報告書では、新学期の授業、Family Literacy Night、総領事との御食事会についてお伝えします。

【新学期の授業】

今期は英語集中コースの授業(IELP)に加えて、学部の授業を履修しています。Advertising and Public Relations、American Sign Language、Digital Photography、Elementary French IIの4科目です。留学生ということで専攻に関係なく自分の興味のある授業を履修できるので、この春学期をととても楽しみにしておりました。ここで、私が受講している授業のうち2つを紹介させていただきます。今後留学される方の参考になればと思います。

MRKT477; Advertising and Public Relations

これはマーケティングの中でも広告分野に特化した授業です。マーケティング専攻の4年生が対象とされており周りのレベルが高く、授業内容も決して簡単ではありません。私は聴講させて頂いております。これまでの授業では、実際にある、地域の企業をどうリブランディングするかについて意見を出し合い、プレゼンを行いました。また広告の歴史を年代ごとに分けて担当し、プレゼンしあう機会もありました。この際にプレゼンの準備について気づいたことがあります。それは話し合いをする際、意見を書き出すのもプレゼン資料を作るのも全てウェブ上で行われるということです。様々な媒体を活用してとても効率的に準備を行うのだと驚きました。この方法は、グループのメンバーが言っていることが全て聞き取れなかったり、単語を知らなかったりしても、文字で確認することができるので、とても私を手助けしてくれました。また周りの学生たちは、難しい質問でも積極的に発言しており、日本とは異なる授業スタイルを体感しています。私は日本の大学でもビジネスや広告に関する授業を履修していましたが、やはり知識量に差があります。教科書を何度も読み、予習復習を入念に行って授業に挑んでいきたいと思っております。

BLMC156; American Sign Language

その名の通りアメリカ手話を学ぶ授業です。担当の先生によると、アメリカ手話というイメージが持つ学生が多いようですが、そんなことはないのです。英語とは異なる言語を学ぶという心意気で挑むべきだそうです。実際、英語とは文法が全く違

います。アメリカ手話は単語で構成されるので、活用や前置詞を考える必要がありません。その点、完璧な文法の英語を話さなくてはと苦勞する私たちにとっては分かりやすいと感じました。そして、ほぼ各国の手話はその国内でしか使用されませんが、アメリカ手話はカナダでも使用されているそうです。私はまだ聴覚に障害がある方に会ったことはありませんが、今後会った際に少しでもコミュニケーションを取ることができるよう、しっかり学んでいきたいです。全体として、この授業は比較的アットホームな雰囲気で行われるので、他授業では専門用語等の理解に時間を要する留学生にとっても、楽しく勉強ができると感じました。

### 【Family Literacy Night】

1月16日に Liberty Benton Nest で行われた Family Literacy Night に参加しました。主に小学生に向けた文学に触れるイベントで、私は日本昔話である桃太郎の紙芝居を行いました。子どもたちの様子を見ながらなるべく簡潔にしたり、興味を持ち続けてもらえるよう上手く話したりするのが難しいと感じました。しかし予想していたより多くの子どもたちが興味を示してくれて嬉しかったです。今回参加した日本人学生は私ひとりだけで、更に紙芝居をすることにとっても緊張していましたが、大学の教授と御家族のご協力もあり無事に終えることができました。未だ英語で話すことに緊張感はありますが、少し自信がつかえました。今後もこのような機会があれば是非参加したいと思います。



### 【総領事との御食事会】

2月5日、在デトロイト日本国総領事館 総領事夫妻よりディナーに御招き頂きました。外務省知的財産担当官、フィンドレー市長夫妻、フィンドレー経済開発局長夫妻、フィンドレー大学外国語学部長の川村教授と共に素敵な時間を過ごさせて頂きました。私は福井県留学生として参加させて頂くということで、事前にフィンドレーと福井県の交流関係、歴史を改めて学びました。姉妹都市として交流がある埼玉県とは異なり、福井県はフリード前学

長の御厚意で教育的交流が始まり、またそこから先日行われていたビジネス研修をはじめとする経済的な関わりを持つようになったようです。お食事の際には、留學生生活のことを話させて頂いたり、日本に視察に行かれた市長や経済開発局長のお話を伺ったりしました。フィンドレー市には日本のコミュニティがあり、市長をはじめ多くの市民の方々、学生が日本に興味を持っています。その為、私たち留學生は、ボランティア活動を通して地域の方々とお話ししたり、地元の学生に日本文化を伝えたりするなど、日本人として交流する機会が沢山あります。フィンドレーならではの活動をすることができており、私たちを温かく迎え入れて下さるこの地に留学できていることを大変嬉しく感じています。今後も福井県留學奨学生として、微力ではありますが地域に貢献できるよう過ごしていきます。改めまして、このような機会に御招待して下さった総領事夫妻、外務省知的財産担当官、御一緒させて頂いた市長、経済開発局長、川村教授に大変感謝しております。貴重な御時間を本当にありがとうございました。



日本から寄贈された桜の前での記念の一枚です。

最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。[sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 2月分

佐々木菜緒

皆さまいかがお過ごしでしょうか。昨今コロナウイルスに関する話題で世界中が持ちきりとなっています。福井県ではまだ発症していないようですが、日本は特に感染者数が多いので心配です。先日ここオハイオ州でも3件の感染が確認されました。それに伴い来週月曜日から4月14日まで、全ての授業がオンラインに移行され、学内でのイベントが中止になります。事態が一刻も早く落ち着くことを願うばかりです。今回の報告書では、高校生たちとの交流、パレスチナ問題、International Mother Language Day、Spring Breakについてお伝えします。

### 【フィンドレー高校の学生との交流】

先月末から Intercultural Service Learning というプログラムで、フィンドレー高校の学生2人と日本人3人で異文化交流活動をしています。彼女たちは、学期末にある日本に関するプレゼンテーションに向けて学び、またアメリカ文化を伝えてくれており、私たちは日本文化を伝えています。日本食を作って、食べてみてもらったり、学校行事や学生生活について紹介したりしています。先日は、彼女たちの要望で日本の政治体制を紹介しました。今後は食事マナーや仕事環境についてなどを学びあう予定です。日本を紹介する際には、改めて考えさせられ勉強になることが必ずあり、彼女たちとの交流を通じて、両国の文化を見直すことができます。今後も互いに高めあえるよう学び合っていきます。

### 【パレスチナ問題】

2月19日にパレスチナ問題について、ガザ地区出身の学生からお話がありました。これはとても大きな問題ですし、私も大学で宗教的観点から学びましたが、今回の発表でその地域のことを直接伺うことができました。彼女は幼い頃からガザ地区周辺で続いている戦争の中で育ち、フィンドレー大学に通うために数年前からアメリカで暮らし始めたそうです。この発表内で彼女は自分が見ていた景色を伝えてくれました。中でも特に衝撃的だったのは、遊んでいる子どもに銃口を向けている写真です。幼い子どもたちでさえ常に監視されているなんて、とても悲しいと感じました。また、校舎が半分崩壊している写真もありました。授業を受けているところを攻撃されることもあるようです。あちこちに軍隊がいて、家の周りも見張られているとっていました。外で楽しく遊ぶこともできない、常に緊張感の中で生きていかなければならない、どこも平和ではないことを目の当たりにしました。

そしてガザ地区とイスラエルの境界には、セキュリティフェンスと呼ばれる高い壁が聳え立っているそうです。それにより家族や友人と離れ離れにされた人たちが沢山います。その壁を越えれば命の保証はないとわかっているにもかかわらず、愛する家族に会うために壁を越え、逮捕

や殺害される市民もいるそうです。

現在彼女は私と同じ大学3年生で、アメリカで生活しています。彼女の兄弟はイギリスやドイツで学業を続けることができているそうですが、彼女のご両親や親戚はガザ地区に住んでいます。彼女は一度国外に出ているので再入国許可が下りないと言っていました。自分の故郷に帰ることができない、この先もそれが許される時が来るのかわからないと聞き、私と同じ年齢の子がそのような状況にあると考えると、とても辛くなりました。私が知らないだけで、彼女をはじめ、幼いころから身近に戦争というものがあり、それによって生活を制限されている、苦しんでいる方は世界中に数えきれないほどいるはずで、彼らを救うために、何かできることはないのかと苦しくなりました。パレスチナ問題はそう簡単に解決できることではありませんが、少しでも早く人々が平和に暮らせるように願います。

### 【International Mother Language Day】

2月21日 International Mother Language Day に、学内で互いの言語や文化に触れるイベントがありました。アメリカをはじめ、中国、日本、インド、ネパール、バングラデシュ、パレスチナ、ギリシャなど様々な地域出身の学生が、詩を読んだり、歌や踊りを披露したりしていました。また私も授業を履修しているアメリカ手話(ASL)の先生が、英語をASLで訳しておられました。現在世界中に7000語存在すると言われていますが、そのうち4分の1が絶滅の危機に晒されているそうです。このイベントを主催した生徒は、様々な理由で母国から離れ移住したり、帰化したりすることがあっても、母国語を忘れてはならない、無くしてはならないと話していました。私自身はそうすることはなくても、決して他人事ではないと感じました。特にこの2月からゆうじくんという3歳の男の子に出会っていたからです。彼は日本とアメリカのハーフで、日本に住んでいた期間もありますが、現在はアメリカで英語に囲まれて生活をしています。わずか3歳のゆうじくんですが、既に頭の中は英語で構成されているようで日本語を覚えていません。そこで彼のご両親の希望で、週に2回ゆうじくんに会って、日本語に触れてもらう時間を設けています。これから日本語を習得するのは厳しいようですが、少しでも自分の半分ができている日本の言語を知ってほしい、将来第二言語を選択したり世界のことを知ったりしていく中で日本を身近に感じてほしいと、皆が願っています。私も微力ではありますが、彼に良い影響を与えられるように考えて活動していきたいと思います。改めて言語について考える機会となりました。

### 【Spring Break】

2月29日から3月8日まで休暇があり、その期間を使って Grand Canyon や Antelope Canyon、Horseshoe Bend を見に行きました。念願の Grand Canyon は、地層が綺麗に水平に重なっており、その景色がずっと広がっていて不思議な感じがしました。また、この一瞬で地球の歴史の半分を目にしたことを考えると感慨深いものがありました。Antelope Canyon について、これはネイティブアメリカンであるネバダ族の居住地にあり、ネバダ

2019年3月10日

族のガイドさんに案内をして頂きました。自然の流れでできた神秘的な光景はとても美しく、感動しました。また移動中もウタ州やアリゾナ州の砂漠地帯の景観に圧倒されました。雲一つない快晴にも恵まれ、今回この機会に、アメリカの大自然が創り上げた素晴らしい場所を訪ねることができてとても嬉しかったです。



最後まで読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。 [sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 月例報告書 3月分

佐々木菜緒

暖かな春の日が続く頃となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの影響により、私は先月帰国を致しました。大学の授業は今期いっぱいオンラインで進められることになり、一部の授業は引き続きオンラインで受講しています。

3月は新型コロナウイルスによる影響や帰国準備に伴い、あまり活動ができませんでした。そこで今回の報告書では、送別会、これまで活動を続けていた Funday Sunday、開催予定だった International Night についてお伝えします。

### 【送別会】

3月初旬、アメリカでは未だ感染者数は少なく、オハイオ州からは遠く離れた都市で少しずつ出てきているという状況でした。しかし大学の対応はいち早く、授業は全てオンラインになり、生徒は退寮が推奨されました。私たち日本人留学生は緊急帰国を決断しました。そこで留学期間中私たちの面倒を見て下さった川村教授と青木先生が、メッセージカードを作ってくれ、また最後にフィンドレーでとても有名な Diches というアイスクリーム屋さんまで連れて行ってくださいました。先生方には大変お世話になり、本当に感謝しています。困った際に頼れる存在がいるというのは、とても心の支えになりました。ありがとうございました。

また大学近くに住んでいる心優しい Bob と Jan も送別会を開いてくれました。この約8か月間2人は私たちを温かく迎え入れ、楽しいイベントやパーティーをたくさん開催してくれました。クリスマスやバレンタインのデコレーションをしたり、イースターにはウサギの置物に色を塗ったりと、どれも大切な思い出です。

2人は私たち一人ひとりに合わせたネックレスを贈ってくれて感激しました。Bob と Jan は、私たち留学生にとって家族のような存在でした。またフィンドレーを訪ねた際は、是非会いに行きたい方々です。

実は同じシェアハウスに住んでいた友人たちとも食事会を予定していたのですが、緊急帰国の為、最後に挨拶することもできずそのままお別れとなりました。私は、まだアメリカに残りたいという想いと、帰国して安心したい気持ちで複雑でした。このような事態になり非常に残念ですが、フィンドレーで素敵な友人たちと出会い、共に思い出を作れたことに変わりはありません。今後も連絡を取り続け、またいつ



Bob & Jan と UF ポーズで一枚。

かどこかで再会できればと思います。

### 【Funday Sunday】

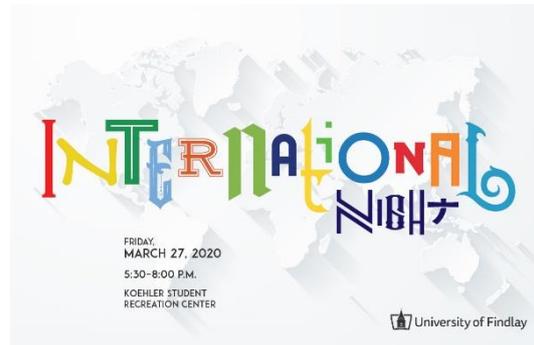
この Funday Sunday というイベントは、大学構内にある Mazza Museum が主催で、昨年 11 月から毎月第一日曜日に行われていました。子どもたちに楽しんでもらう、また異文化交流をするというコンセプトのもと、様々なグループが参加していました。私は日本人留学生チームの代表を務め、毎月主催者の方とチームメンバーと話し合いをして、テーマに沿った出し物や工作を決めていました。これまで、宇宙がモチーフの塗り絵やパネルを使ってフォトブースを作ったり、クリスマスの飾りを作ったりしました。また科学がテーマだった際には、スライム作りを行いました。このイベントには 2~3 歳の子どもたちが 300 名程参加しており、スムーズに対応しなければならない難しさはありましたが、友人たちのおかげで毎回大盛況に終わりました。子どもが大好きな私にとってとても楽しく地域の方と交流できるイベントでした。



### 【International Night】

3月27日に開催予定だった International Night とは、様々な国や地域出身の留学生が中心となり、学内外問わず地域の方に異文化に触れてもらうというイベントでした。留学生たちは皆早い段階から準備を始めており、春学期最大のこのイベントをとっても楽しみにしていました。私は、オリジナルしおり作り、よさこい、浴衣ファッションショー、日本食試食作りを担当していました。しおり作りでは、折り紙で彩られたしおりに、来てくれた方の名前を漢字に充て習字で書く予定でした。またよさこいは、福井大学でよさこいサークルに所属している友人に指導を受け、練習を重ねていました。同じ福井県出身として恥ずかしいのですが、私はこれまでよさこいをあまり見たことが無く、始めはよさこいを踊ることに消極的でした。しかし彼女のキレッキレの踊りを見て、よさこいは「カッコイイ」し、日本らしさ溢れる、ひとつの伝統文化だなと考えるようになりました。しかし、いよいよこれからという時に中止になってしまい残念でした。このイベントの醍醐味は「体験」であった為、オ

オンラインでも開催することはできませんでしたが、私たちの考えたことは無駄ではないはずです。準備の際私自身の考え方も変わりましたし、予定していたいくつかの活動は、今後体験型の文化交流をする際に必ず役に立つからです。何かの形でまた世界中の学生や人々と交流し、お互いに自国の文化や活動を伝えたいと思います。



これまで報告書を読んでいただきありがとうございました。何か疑問点や興味のある事柄があれば、気軽にご連絡ください。[sasakin@findlay.edu](mailto:sasakin@findlay.edu)

## 2019-2020 フィンドレー大学・福井県留学奨学生 留学修了報告書

佐々木菜緒

はじめに、今回皆様の御支援のもと、福井県留学奨学生としてフィンドレー大学に留学の機会を頂きましたことに大変感謝しております。新型コロナ禍のおり、予定より少し早い帰国となりましたが、福井県代表として様々な事に挑戦し、学びを深め、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

以前の報告書にも記載させて頂きましたが、フィンドレーには日本のコミュニティがあります。人々は特に日本に対する興味、関心があるのはもちろん、異文化受け入れに対しても寛容です。私は日本人として、小学生に日本文化を伝える授業を行ったり、高校生と互いの文化について学習したりと異文化交流活動をする多くの機会に恵まれました。様々な活動をする中で、日本らしさや日本文化を改めて見直すことができ、またアメリカ人はどんな先入観や偏見を持っているかについても知り、考えました。地域の方々も学生も、言語や習慣など文化が異なってもひとりの人間として温かく迎え入れてくれ、フィンドレーに留学できていることを光栄に感じていました。

さらに、アメリカ合衆国は広報・PRの本場ですが、フィンドレー大学内でも日本ではあまり使用されていない効果的で効率的な広告方法が採られていることに気がつきました。例えば“Goose chase”です。大学構内では、クラブ活動の宣伝方法として使用されていました。私が参加した際は、環境保護と家畜に関するクラブが合同で主催しており、チームの皆でその軸に沿った数々の質問に答え、指定される活動をしながらか構内を巡りました。新入生や留学生にとっては、そのテーマについても構内に何があるのかをも知ることができ、チームの親睦を深めることもできる素晴らしい企画でした。また他のクラブ広報活動としては、頻繁に各クラブが作ったTシャツやスウェットの配布がありました。それを得るためにボランティアを皆で行うなど、社会貢献とクラブの広報を上手に兼ねていると感心しました。

このように、フィンドレーの心温かい人々や学生たち、シェアハウスのハウスメイトと共に充実した留学生活を送り、また大学では、英語力やプレゼン力を磨くだけでなく、この留学に期待していた児童教育や広報についてより深く考えることができました。

最後に、この約8か月間の留学を通して多くの素敵な仲間、地域の方々と出会い、交流し、また学びを深めることができました。改めて、このような素晴らしい機会を与えて下さった福井県の皆様、支えて下さった先生方、家族に、心より感謝いたします。この経験を人生の糧とし、また微力ではありますが福井県にも貢献できればと考えております。貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。